

省エネ基準適否

チェックリスト

設計者：

資格番号：

建築主：

地域の区分

⇒P.34～35

◎建設地の地域の区分を確認してください。

3

地域

1

断熱材の熱抵抗R

⇒P.16～21

◎断熱する部位と採用する断熱工法によって基準値が異なります。

◎断熱する部位とその部位の断熱工法をチェックし、「断熱材の製品名と厚さ」及び「熱抵抗 R」を記入のうえ、基準適否を確認してください。

◎1つの部位で複数の断熱工法を採用する場合は、それぞれの工法ごとに基準値を満たす必要があります。

◎1つの部位に複数の仕様がある場合は、性能が低い仕様（熱抵抗 R が小さい方）について記入してください。

◎該当する部位がない場合は、「該当部位なし」にチェックをしてください。

部 位	断熱工法の基準値	断 熱 材 の 製 品 名 と 厚 さ		熱 抵 抗 R [㎡・K / W]	適 否 確 認		
					該 当 部 位 な し	適 合	不 適
屋 根	☐ 軸組充填：R≧4.6 ☐ 枠組充填：R≧4.6 ☐ 外 張：R≧4.0	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ mm	R	☐	☐	☐
天 井	☐ 軸組充填：R≧4.0 ☐ 枠組充填：R≧4.0 ☐ 外 張：R≧4.0	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ mm	R	☐	☐	☐
壁	☐ 軸組充填：R≧2.2 ☐ 枠組充填：R≧2.3 ☐ 外 張：R≧1.7	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ mm	R	☐	☐	☐
床 （外気に接する部分）	☐ 軸組充填：R≧5.2 ☐ 枠組充填：R≧4.2 ☐ 外 張：R≧3.8	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ mm	R	☐	☐	☐
床 （その他の部分）	☐ 軸組充填：R≧3.3 ☐ 枠組充填：R≧3.1	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ mm	R	☐	☐	☐
土間床等の外周部分の 基礎壁 （外気に接する部分）※	☐ 軸組充填：R≧3.5 ☐ 枠組充填：R≧3.5 ☐ 外 張：R≧3.5	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ mm	R	☐	☐	☐
土間床等の外周部分の 基礎壁 （その他の部分）※	☐ 軸組充填：R≧1.2 ☐ 枠組充填：R≧1.2	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ mm	R	☐	☐	☐

※玄関、勝手口等の土間床部分の断熱を省略する場合には、当該部分を除く基礎壁について確認してください。

2

開口部(窓、ドア)の熱貫流率U

⇒P.22～23

◎「製品名」及び「熱貫流率 U」を記入のうえ、基準適否を確認してください。

◎複数の仕様がある場合は、性能が低い仕様（熱貫流率 U が大きい方）を記入してください。

部 位	基 準 値	製 品 名	熱貫流率 U [W/(㎡・K)]	適 否 確 認	
				適 合	不 適
窓	U≦2.3	製品名（又は建具とガラスの種類）	U	☐	☐
ドア	U≦2.3	製品名（又は枠と戸の種類）	U	☐	☐

3

設備機器の仕様

⇒P.24～25

※設備機器の仕様は次のページへ記入

暖冷房設備

右記のいずれかを選択

☐ 住戸全体を暖冷房 ―――→ ☐ ダクト式セントラル空調機で、ヒートポンプを熱源とするもの

☐ 居室のみを暖冷房
暖房と冷房の両方について以下のいずれかを選択

☐ パネルラジエーターで以下のいずれかを熱源とし、かつ配管に断熱被覆があるもの
①～③のいずれかを選択

☐ ① 石油潜熱回収型温水暖房機【エコフィール】

☐ ② ガス潜熱回収型温水暖房機【エコジョーズ】

☐ ③ 電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒に限る）

☐ 暖房 ―――→ ☐ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）又は（ろ）のもの
☐ FF 暖房機

☐ 冷房 ―――→ ☐ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）又は（ろ）のもの

☐ 設置しない

換気設備

右記のいずれかを選択

☐ 比消費電力（熱交換換気設備を採用する場合にあっては比消費電力を有効換気量率で除した値）が 0.3[W/(㎡/h)]以下の換気設備

☐ ダクト式第一種換気設備（熱交換なし）で、ダクト内径が 75mm以上で、かつ DC モーター（直流）のもの

☐ ダクト式第二種 又は 第三種換気設備で、ダクト内径が 75mm以上のもの

☐ 壁付け式第二種 又は 第三種換気設備のもの

給湯設備

右記のいずれかを選択

☐ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】

☐ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】

☐ 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】

照明設備

☐ 非居室の全ての照明に、LED 又は 蛍光灯 を設置している

省エネ基準への適合確認のプロセス

1 断熱材の熱抵抗R

2 開口部(窓、ドア)の熱貫流率U

3 設備機器の仕様

すべて「適合」又は「該当部位なし」を選択

すべての設備でいずれかの仕様を選択

省エネ基準「適合」となります。

省エネ基準適否

☐ 適合 ☐ 不適

出典(国交省)：木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック【省エネ基準編】(1～3地域版)



下記に記載のない設備機器(床暖房など)を設置する場合は、このチェックリストは使用できませんが、エネルギー消費性能計算プログラムにより適否を確認することができます。このプログラムを使うことにより、より多くの省エネ設備の評価が可能になります。

エネルギー消費性能
計算プログラム
https://house.lowenergy.jp/



暖冷房設備

暖冷房の範囲を選択したのち、各々についていずれかの設備機器であることを確認し、☐ にチェックをしてください。

☐ 住戸全体を暖冷房

型番を記入

→ ☐ ダクト式セントラル空調機で、ヒートポンプを熱源とするもの

☐ 居室のみを暖冷房

型番を記入

暖房と冷房の両方について、以下のいずれかの設備機器であることを確認してください。
一部の居室に暖冷房設備機器を設置しない場合は、暖冷房設備機器を設置する居室だけで確認してください。

暖房

- ☐ パネルラジエーターで、①～③のいずれかを熱源とし(選択してください)
かつ配管に断熱被覆があるもの → 「配管の断熱被覆」は P.31 を参照
- ☐ ①石油潜熱回収型温暧房機【エコフィール】の熱効率 83.0% 以上のもの
 - ☐ ②ガス潜熱回収型温暧房機【エコジョーズ】の熱効率 78.9% 以上のもの
 - ☐ ③電気ヒートポンプ温暧房機(フロン系冷媒に限る)
- ☐ ルームエアコンディショナーで、
エネルギー消費効率の区分が (い) 又は (ろ) のもの
- ☐ FF 暖房機の熱効率 86.0% 以上のもの

(い) 又は (ろ) を記入

熱効率を記入

%

冷房

- ☐ ルームエアコンディショナーで、
エネルギー消費効率の区分が (い) 又は (ろ) のもの

(い) 又は (ろ) を記入

☐ 設置しない

すべての居室に暖冷房設備機器を設置しない場合は、「設置しない」を選択してください。
入居後に設置する場合やまだ機器が決まっていない場合は、「設置しない」を選択してください。

暖冷房設備の設置室を記入

型番を記入

熱効率を記入

%

%

型番を記入

照明設備の設置室を記入



換気設備

以下のいずれかの設備機器であることを確認し、☐ にチェックをしてください。

- ☐ 比消費電力(熱交換換気設備を採用する場合にあっては比消費電力を有効換気量率で除した値)が0.3[W/(m³/h)]以下の換気設備
- ☐ ダクト式第一種換気設備(熱交換なし)で、
ダクト内径が 75 mm 以上で、かつDCモーター(直流)のもの
- ☐ ダクト式第二種 又は 第三種換気設備で、
ダクト内径が 75 mm 以上のもの
- ☐ 壁付け式第二種 又は 第三種換気設備のもの
- ☐ 設置しない(居室がない場合) → 「換気設備の種類」は P.31 を参照



給湯設備

以下のいずれかの設備機器であることを確認し、☐ にチェックをしてください。

- ☐ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】のモード熱効率 81.3% 以上のもの
- ☐ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】のモード熱効率 83.7% 以上のもの
- ☐ 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】の JIS 効率3.5 以上(1地域) 3.2 以上(2地域)、3.0 以上(3地域)のもの
- ☐ 設置しない(浴室等、台所及び洗面所がない場合)

熱効率を記入

%

熱効率を記入

%

熱効率を記入

JIS効率を記入



照明設備

下記であることを確認し、☐ にチェックをしてください。

- ☐ 非居室の全ての照明に、LED 又は 蛍光灯 を設置している。
- ☐ 非居室なし

居室の照明設備については、確認不要です。 → 「非居室」は P.31 を参照

設備機器の効率等を調べる方法

▶ 一般社団法人 住宅性能評価・表示協会 のサイトから調べる

住宅性能評価・表示協会
https://www.hyokakyoukai.or.jp/



温熱・省エネ設備機器等ポータル

▶ 住宅版 ▶ 非住宅版

暖房設備、冷房設備、換気設備、給湯設備から
効率を調べたい設備を選択します。

カテゴリー 一覧

大分類 全て 躯体の外皮性能等 一次エネルギー消費量 その他基準

中分類 冷房設備

検索

検索へ進み、調べたい事業者を選ぶと、事業者の案内ページが開きます。

▶ Web で 検索キーワードから効率等を調べる

エコキュートの JIS 効率を調べる例 (メーカー名) エコキュート JIS 効率

Web サイトで検索すると、メーカーのホームページで右図のように JIS 効率を調べることができます。

▶ 左記のサイトに掲載していない場合や Web 検索で設備機器、効率等が不明な設備機器はメーカーにお問い合わせください。

品番	タイプ	追焚き	容量(L)	設置(屋内外)	JIS 効率
#####001	フルオート	○	460	屋外仕様	3.7
#####002	フルオート	○	370	屋外仕様	3.8
#####003	フルオート	○	460	屋外仕様	3.5